

ネイティブ・サッカロマイセス・セレビジエ・アデノシン-5'-トリフォスフェート・サルフォリラーゼ

Cat. No. NATE-0090

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、硫酸アデニル転移酵素（EC 2.7.7.4）は、化学反応を触媒する酵素です： $ATP + 硫酸 \leftrightarrow 二リン酸 + アデニル硫酸$ 。したがって、この酵素の二つの基質はATPと硫酸であり、その二つの生成物は二リン酸とアデニル硫酸です。この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含むヌクレオチド基（ヌクレオチジル転移酵素）を転送するものです。この酵素は、プリン代謝、セレンオアミノ酸代謝、硫黄代謝の3つの代謝経路に関与しています。

用途 アデノシン-5'-三リン酸硫酸化酵素（ATP硫酸化酵素）は、硫黄代謝および硫化水素の生合成を研究するために使用される可能性があります。ATP硫酸化酵素は、ピロシーケンシングにも使用されます。この酵素は、淡水中の無機硫酸塩の定量のための生物発光アッセイでルシフェラーゼと共に使用されてきました。無機硫酸塩は、ATP硫酸化酵素によってアデノシン-5'-ホスホ硫酸と無機ピロリン酸に交換され、ATPが消費されます。残りのATPは、ホタルルシフェラーゼによって触媒される反応の補因子として使用され、可視光の光子を副産物として生成します。光の出力は無機硫酸塩の含有量に反比例します。

別名 ATP-硫酸化酵素; アデノシン-5'-三リン酸硫酸化酵素; アデノシン三リン酸硫酸化酵素; アデニル硫酸ピロリン酸化酵素; ATP硫酸化酵素; 硫酸化酵素; EC 2.7.7.4; 9012-39-9; 硫酸アデニル酸転移酵素

製品情報

由来 サッカロマイセス・セレビジエ

形態 凍結乾燥粉末。クエン酸緩衝塩を含む

EC番号 EC 2.7.7.4

CAS登録番号 9012-39-9

活性 > 1.0 ユニット / mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、30°CでpH 8.0の条件下でAPSと無機ピロリン酸から1.0 μmoleのATPを1分あたり生成します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C